

WIN国際世論調査

「アメリカ合衆国大統領選挙に関する世論調査」

10か国グローバル調査



調査結果

2020年11月2日



株式会社 日本リサーチセンター

◆「アメリカ合衆国大統領選挙に関する世論調査」レポート

株式会社日本リサーチセンター（本社：東京都墨田区、代表取締役社長 鈴木稲博）が加盟しているWIN（Worldwide Independent Network Of Market Research）では、2020年10月に世界10カ国（日本、アメリカ、カナダ、アルゼンチン、ペルー、イギリス、イタリア、スペイン、ドイツ、フランス）の18歳以上の個人を対象に、「アメリカ合衆国大統領選挙に関する世論調査」を実施しました。

この度、その調査結果がリリースされましたので、日本版レポートを発表いたします。ご覧いただければ幸いです。

注1：比率（％）は、各国の人口に比例した重みを付けて集計を行っています（ウエイト集計）

注2：比率（％）は、四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならないところもあります

◆WIN（Worldwide Independent Network Of Market Research）

2007年に設立された、独立系調査会社のネットワークです。

現在世界のおよそ40カ国でメンバーを持ち、世界の多くの国で世論調査や市場調査を実施しています。

◆株式会社日本リサーチセンター（NRC）

1960年に設立された民間の調査研究機関です。

民間企業、官公庁からの受託調査・研究及び自主企画調査を国内外問わず実施しています。

WINの設立に参加し、日本で唯一の代表として加盟しています。

1) アメリカ合衆国大統領選挙に投票するなら、いずれの国もバイデン氏に投票する、という意見が多い。
トランプ氏に投票するという割合は9か国中日本が最多（21%）

- 「ジョー・バイデン氏に投票」と「ドナルド・トランプ氏に投票」の割合の差が大きい上位2位は、ドイツとカナダで、いずれもバイデン氏が5割以上高い。この2カ国では、「バイデン氏に投票」が6割以上を占める。
- 日本は「ジョー・バイデン氏に投票」と「ドナルド・トランプ氏に投票」の割合の差が19ポイントで、9か国中最も差が小さい。

2) ドナルド・トランプ氏についてどう思うか質問したところ、10か国中全ての国で、「どちらかという悪い」の割合が「どちらかという良い」の割合を上回る

- 「どちらかという良い」と「どちらかという悪い」の割合の差は、ドイツとフランスがいずれも-70ポイント以下で、評価が低い。アメリカでは、割合の差が10か国中最も小さい。
- 日本の結果を男女別にみると、「どちらかという良い」と回答した人の割合は女性と比べて男性が多い。
- 日本の結果を性年代別にみると、女性の50代以上で「どちらかという悪い」が8割前後を占め、他の性年代と比べて多い。一方、男性18-29歳では、トランプ氏の評価は拮抗している。

3) ジョー・バイデン氏についてどう思うかの質問したところ、10か国中8か国で「どちらかという良い」が「どちらかという悪い」を上回る。トランプ氏の評価と比べると、各国とも「どちらかという良い」と「どちらかという悪い」の割合の差は小さく、また、「わからない」の割合が多い。

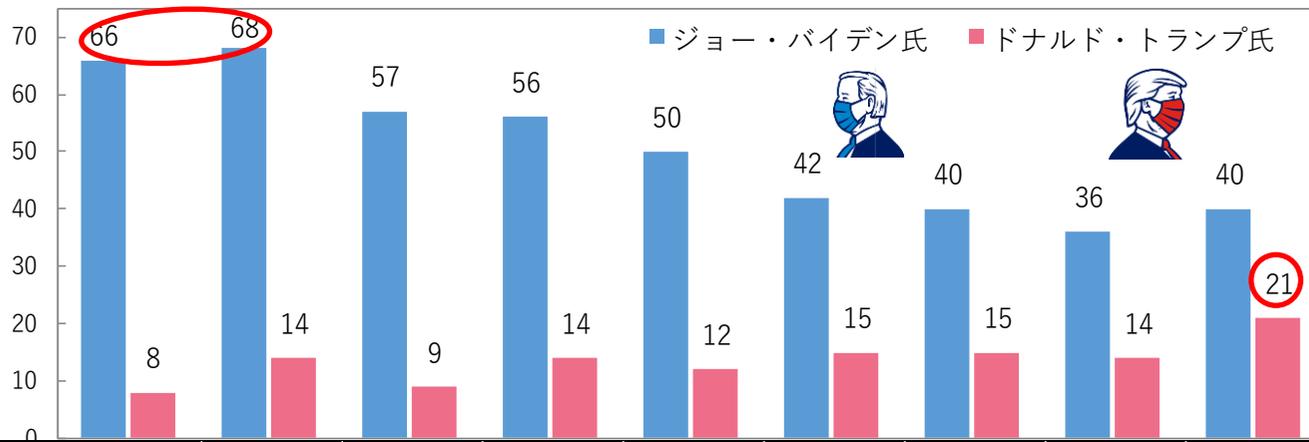
- アメリカでは「どちらかという良い」と「どちらかという悪い」が共に42%で評価が拮抗している。また、ペルーでは「どちらかという悪い」の割合が「どちらかという良い」を2ポイント上回る。
- 日本の結果を性年代別にみると、男性の60-70代で「どちらかという良い」が4割近くを占め、他の性年代と比べてジョー・バイデン氏の評価が高い。

アメリカ合衆国大統領選挙に投票できるとしたら誰に投票するかを聞いたところ、いずれの国もバイデン氏に投票する、という意見が多い。トランプ氏に投票するという割合は9か国中日本が最多（21%）

- 「ジョー・バイデン氏に投票」と「ドナルド・トランプ氏に投票」の割合の差が大きい上位2位は、ドイツとカナダで、いずれも5割以上。この2カ国では、バイデン氏支持が6割以上を占める。
- 日本は「ジョー・バイデン氏に投票」と「ドナルド・トランプ氏に投票」の割合の差が19ポイントで、9か国中最も差が小さい。

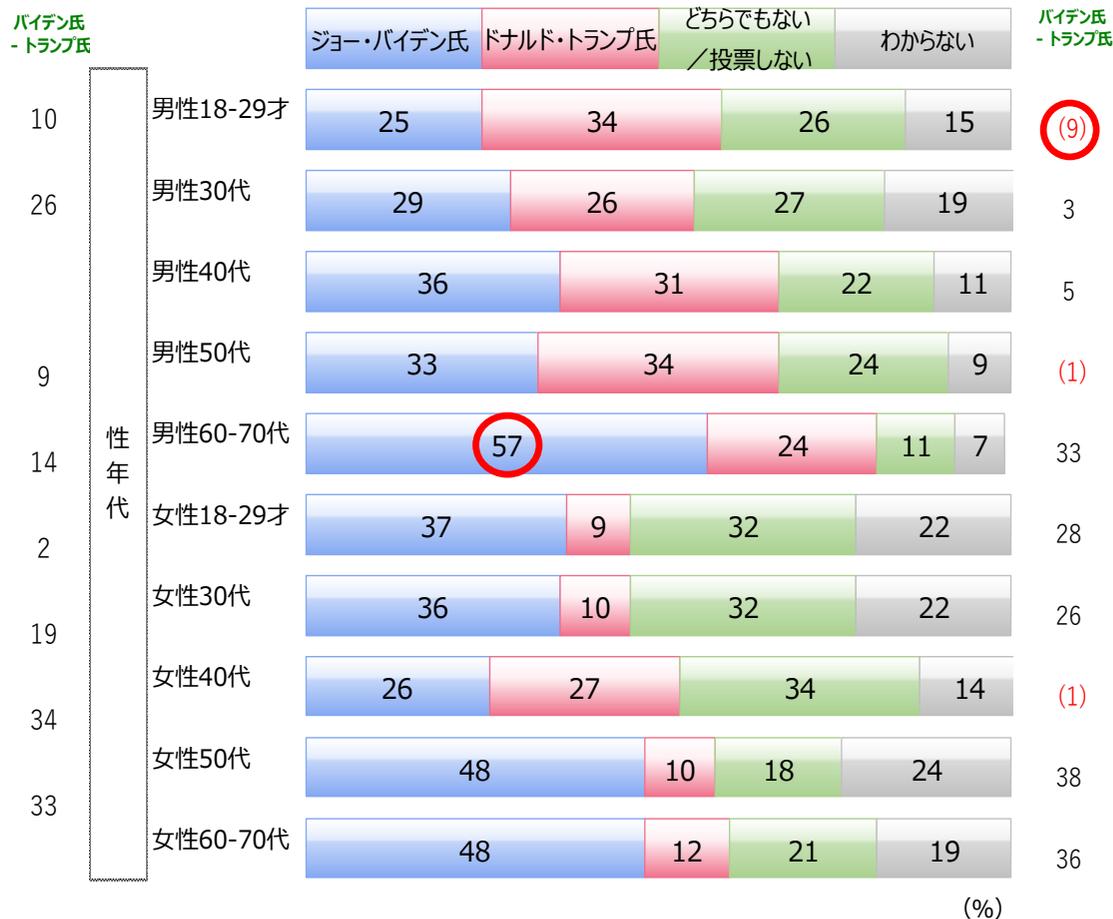
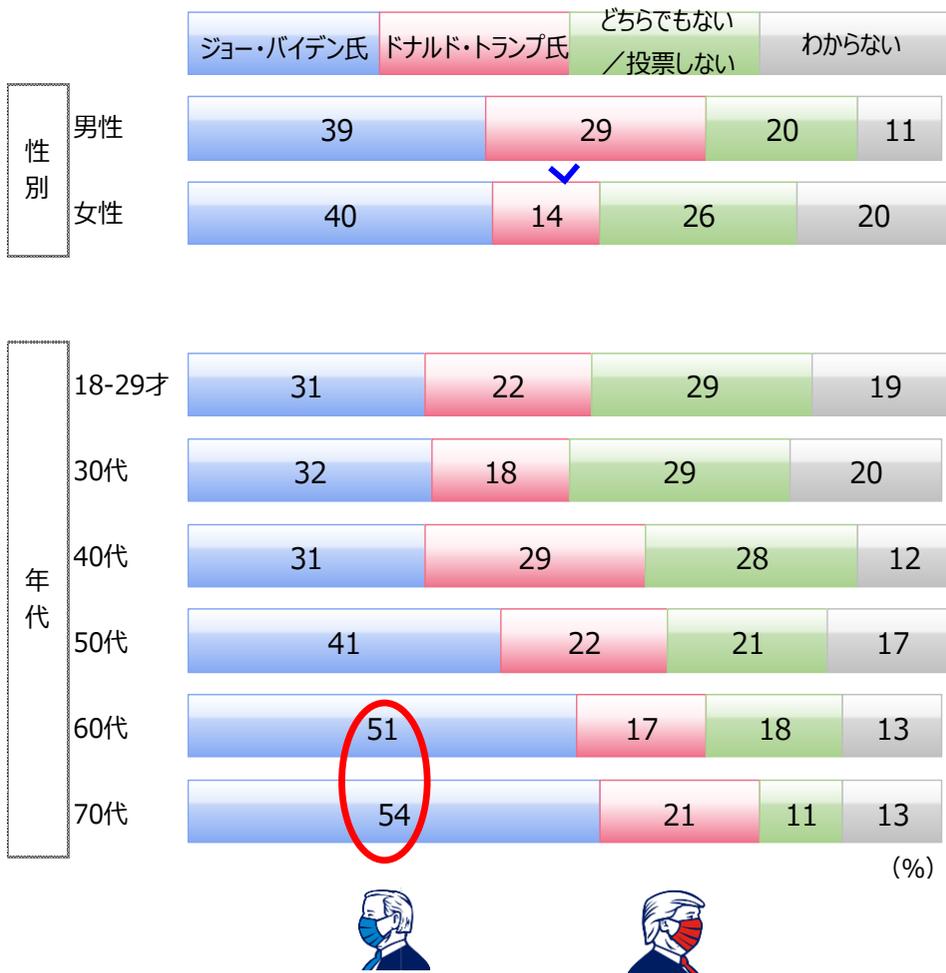
Q 「アメリカ合衆国大統領選挙」に投票するとしたら、誰に投票しますか。(単数回答)

■ 「ジョー・バイデン氏」-「ドナルド・トランプ氏」の回答割合の差（差の大きい順に並べ替え）



	ドイツ	カナダ	フランス	イギリス	スペイン	イタリア	アルゼンチン	ペルー	日本
n=	1000	1539	1000	2082	1000	1000	1010	1017	1089
ジョー・バイデン氏	66%	68%	57%	56%	50%	42%	40%	36%	40%
ドナルド・トランプ氏	8%	14%	9%	14%	12%	15%	15%	14%	21%
どちらでもない/投票しない	19%	13%	22%	21%	38%	27%	31%	35%	23%
わからない	8%	5%	12%	9%	-	16%	15%	14%	16%
「ジョー・バイデン氏」-「ドナルド・トランプ氏」	58%	54%	48%	42%	38%	27%	25%	22%	19%

- 日本の結果を男女別にみると、男性で「ドナルド・トランプ氏に投票」すると回答した割合が女性と比べて多い。
- 日本の結果を年代別にみると、60-70代で「ジョー・バイデン氏に投票」が5割以上と他の年代と比べて多い。
- 日本の結果を性年代別にみると、男性の60-70代で「ジョー・バイデン氏に投票」が6割近く、他の性年代と比べて多い。また、男性18-29歳では、「トランプ氏に投票」（34%）が「バイデン氏に投票」（25%）を9ポイント上回る。



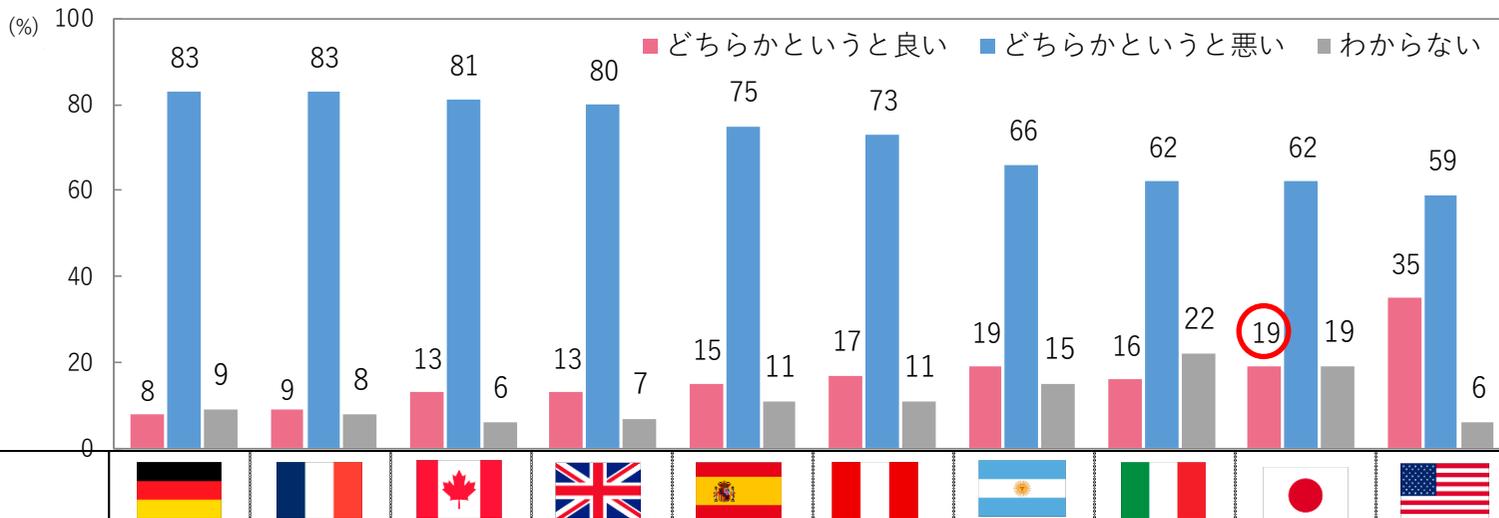


ドナルド・トランプ氏についてどう思うかの質問したところ、10か国中全ての国で、「どちらかという悪い」の割合が「どちらかという良い」の割合を上回る

- 「どちらかという良い」と「どちらかという悪い」の割合の差は、ドイツとフランスがいずれも-70ポイント以下で、評価が低い。アメリカでは、割合の差が10か国中最も小さい。
- 日本は「どちらかという良い」と「どちらかという悪い」の割合の差が-43ポイントで10か国中9位。トランプ氏を「どちらかという良い」と評価する人の割合は19%で、アメリカ（35%）に次いで割合が多い。

Q ドナルド・トランプ氏をあなたはどのように思いますか。(単数回答)

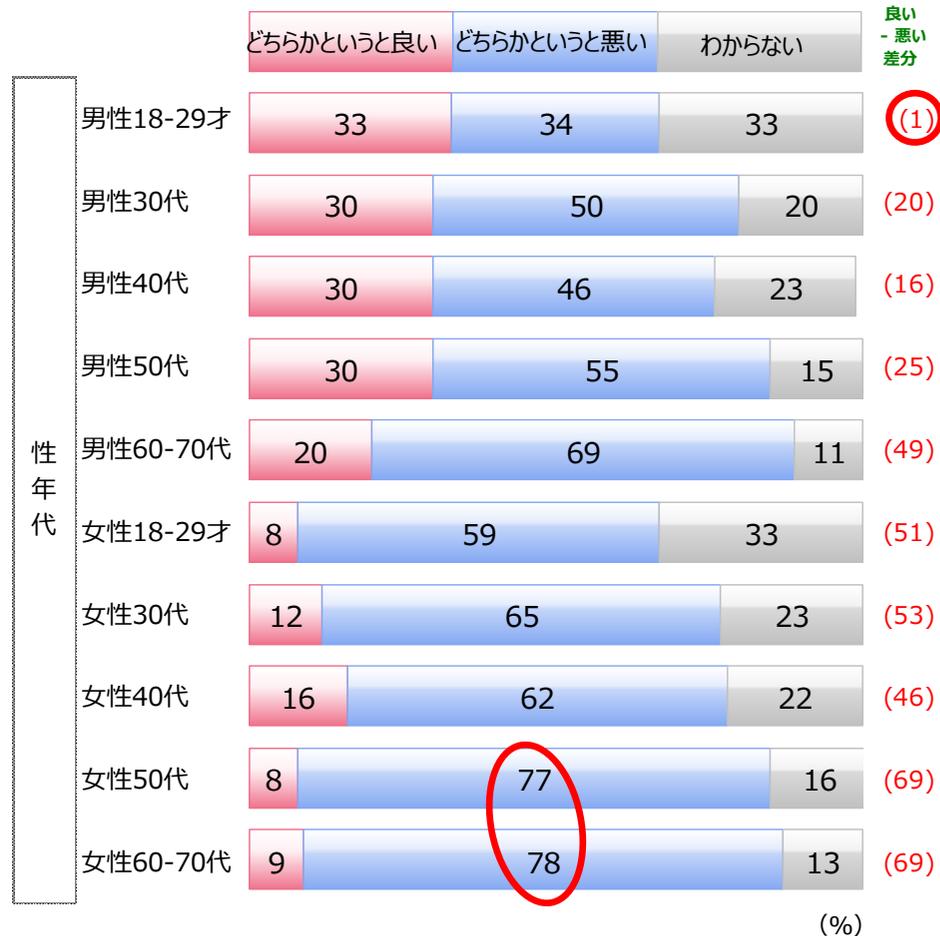
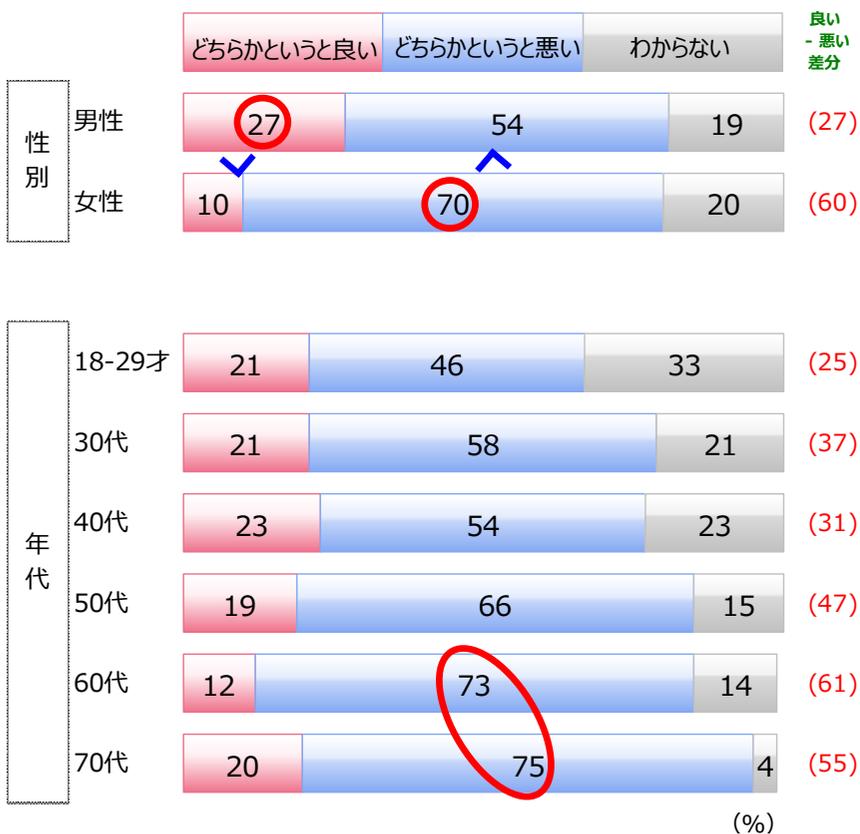
■ 「どちらかという良い」-「どちらかという悪い」の回答割合の差（差の大きい順に並べ替え）



	ドイツ	フランス	カナダ	イギリス	スペイン	ペルー	アルゼンチン	イタリア	日本	アメリカ
n=	1000	1000	1539	2082	1000	1017	1010	1000	1089	1000
どちらかという良い	8%	9%	13%	13%	15%	17%	19%	16%	19%	35%
どちらかという悪い	83%	83%	81%	80%	75%	73%	66%	62%	62%	59%
わからない	9%	8%	6%	7%	11%	11%	15%	22%	19%	6%
「良い」 - 「悪い」	-75	-74	-68	-67	-60	-56	-47	-46	-43	-24



- 日本の結果を男女別にみると、「どちらかというとも良い」と回答した人の割合は女性と比べて男性が多い。一方、女性では男性と比べて悪い評価の割合が多く、「どちらかというとも悪い」が7割を占める。
- 日本の結果を年代別にみると、60-70代で「どちらかというとも悪い」が7割以上と他の年代と比べて多い。
- 日本の結果を性年代別にみると、女性の50代以上で「どちらかというとも悪い」が8割前後を占め、他の性年代と比べて多い。一方、男性18-29歳では、トランプ氏の評価は拮抗している。



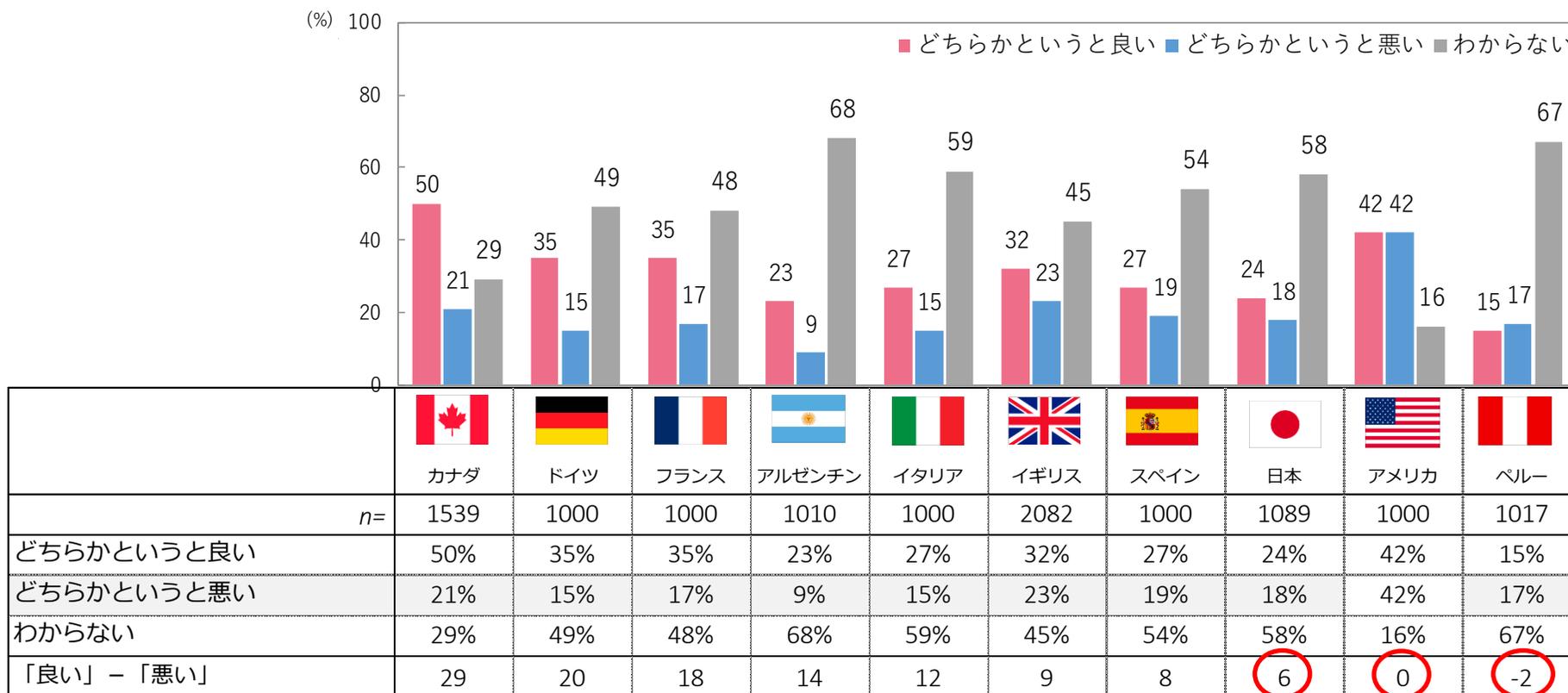
ジョー・バイデン氏についてどう思うかの質問したところ、10カ国中8カ国で「どちらかという和良好的」が「どちらかというと悪い」を上回る。トランプ氏の評価と比べると、各国とも「どちらかという和良好的」と「どちらかというと悪い」の割合の差は小さく、また、「わからない」の割合が多い。

- アメリカでは「どちらかという和良好的」と「どちらかというと悪い」が共に42%で評価が拮抗している。また、ペルーでは「どちらかというと悪い」の割合が「どちらかという和良好的」を2ポイント上回る。
- 日本は、「どちらかという和良好的」と「どちらかというと悪い」の割合の差は6ポイントで他の国に比べ小さく、10カ国中8位。



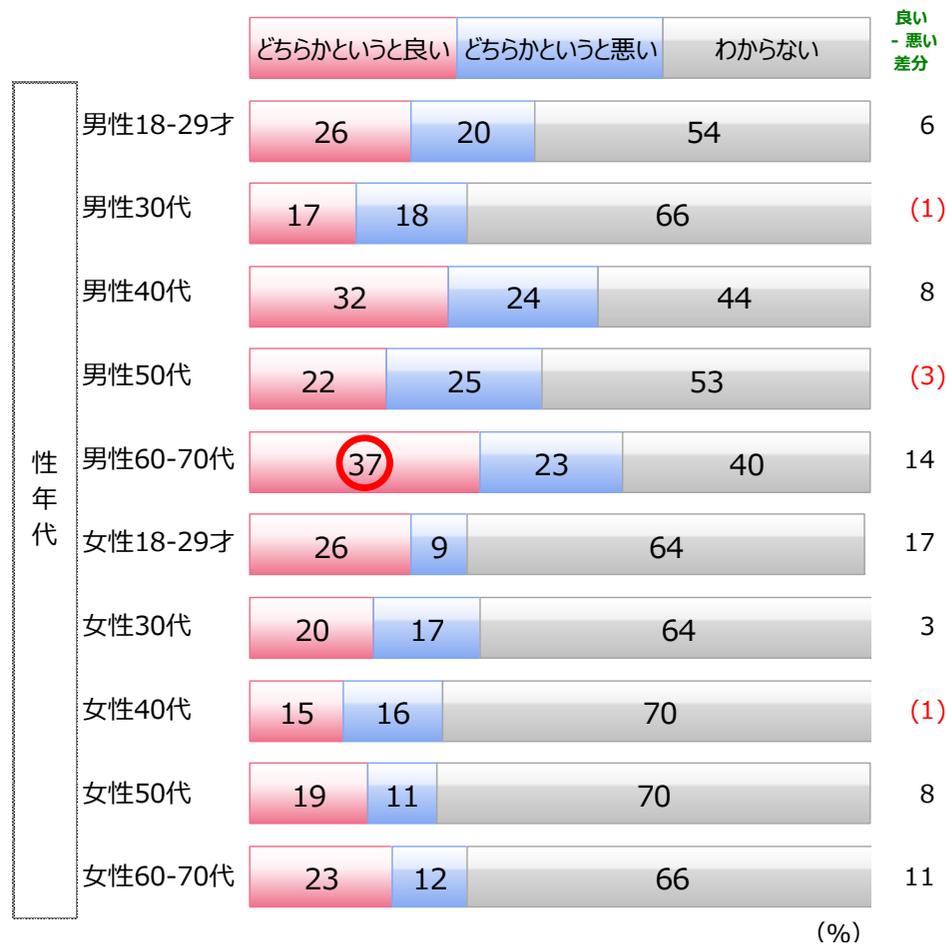
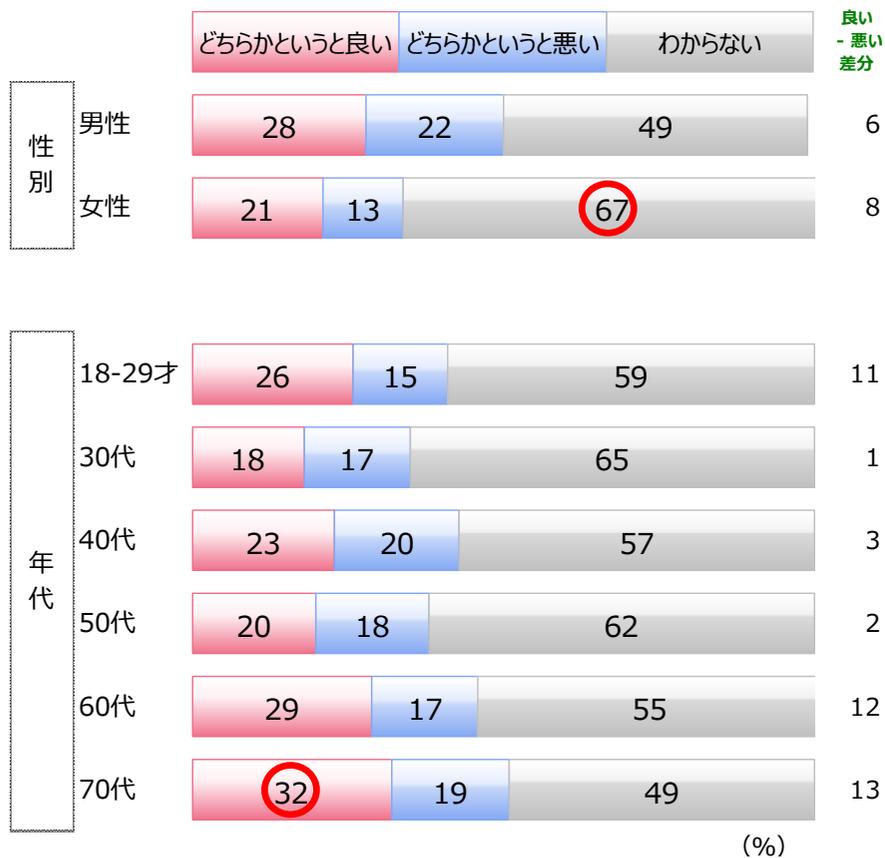
Q ジョー・バイデン氏をあなたはどのように思いますか。(単数回答)

■ 「どちらかという和良好的」－「どちらかというと悪い」の回答割合の差（差の大きい順に並べ替え）





- 日本の結果を男女別にみると、女性で「わからない」と回答した割合が男性と比べて多く、7割近くを占める。
- 日本の結果を年代別にみると、70代で「どちらかというといい」の割合が他の年代よりやや多く、3割を超える。
- 日本の結果を性年代別にみると、男性の60-70代で「どちらかというといい」が4割近くを占め、他の性年代と比べてジョー・バイデン氏の評価が高い。



- 10カ国の内訳と各国の調査手法およびサンプルサイズ

調査対象：18歳以上の個人
 実施期間：2020年10月9日～23日

地域	国	手法	サンプルサイズ
アジア	日本	CAWI	1,089
北米	アメリカ	CAWI	1,000
	カナダ	CAWI	1,539
中南米	アルゼンチン	CAWI	1,010
	ペルー	CAWI	1,017
欧州	イギリス	CAWI	2,082
	イタリア	CAWI	1,000
	スペイン	CAWI	1,000
	ドイツ	CAWI	1,000
	フランス	CAWI	1,000

10カ国合計	11,737
--------	--------

* CAWI (Computer-Assisted Web Interview): インターネット調査

- 日本の調査仕様

調査方法：インターネット調査
 調査対象：全国の18～79歳男女個人
 実施期間：2020年10月9日～13日

- 日本の属性別調査サンプルサイズ

日本	属性	サンプルサイズ
性別	男性	539
	女性	550
年代別	18-29才	166
	39-39才	179
	40-49才	209
	50-59才	183
	60-69才	263
	70-79才	89
性年代別	男性18-29才	84
	男性39-39才	90
	男性40-49才	107
	男性50-59才	92
	男性60-79才	166
	女性18-29才	82
	女性39-39才	89
	女性40-49才	102
	女性50-59才	91
女性60-79才	186	

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先：(株) 日本リサーチセンター広報室

WINアメリカ合衆国大統領選挙に関する世論調査担当

メール：information@nrc.co.jp

本リリースの引用・掲載の際は、必ず「日本リサーチセンター／WIN（Worldwide Independent Network Of Market Research）調べ」とクレジットを明記してください。

調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に当社クレジットを掲載してください。